

## 本書の特色

この本は、前学年の学習内容を中心につくられた新中学3年生のためのテキストです。基本的な力をつける問題から、応用・発展的な難易度の高い問題まで盛り込まれているため、これまで学んできたことを効果的に身につけることができます。

また、講習準備テストと総合確認テストがついていますので、苦手分野の把握や最後の効果測定に役立ててください。

## 本書の使い方

- **ポイント整理**……その課で学習する内容をまとめています。きちんと理解していきましょう。
- **確認問題**……ポイント整理で学習した内容を踏まえたうえで、基本的な問題に取り組みます。
- **演習問題**……演習問題Aと、さらに発展的な演習問題Bの二つの問題で構成されています。文章をしっかり読み取り、設問に取り組むことで、自信をつけていきましょう。また、「思考力問題」には◎をつけています。
- **漢字のトレーニング**……高校入試で頻出の漢字で構成されています。
- **総合問題**……本書の総まとめの問題です。

## もくじ

## 国語中3

1 説明的文章(1)	2
2 説明的文章(2)	8
3 文学的文章(1)——小説	14
4 文学的文章(2)——随筆	20
5 詩歌	26
6 古典	32
総合問題	38

ポイント整理

★古文の読み方

- ・歴史的かなづかいを理解する。
- ・主要な古語の意味を覚える。
- ▼現代語と形が似ていて意味が異なる語やいくつかの意味を持つ語の出題が多い。
- ・動作主や会話主を常に明らかにして読む。
- ・省略された言葉を補いながら読む。
- ▼主語や助詞を問う問題が多い。
- ・内容を正確に読み取る。
- ▼だれが、どうした(どうなった)かなど、人物の行動に注意する。
- ▼だれの会話かをとらえる。→引用の「〜と(とて)」に着目。
- ・筆者の考え方や言いたいことをとらえる。
- ▼筆者の考えや感想は文章の最後に書かれていることが多い。

例  
めでたし↓すばらしい  
をかし↓風情がある  
あはれ↓趣がある  
やがて↓そのまま  
す  
ぐに

★和歌・俳句の読み方

- ・表現技法に注意する。
- ▼枕詞まくらことば(特定の言葉を引き出す語。例あしひきの↓「山」、掛詞かけことば(同音の語を使って、一つの言葉に二つの意味を持たせる。例まつ  
↓松・待つ)、係り結びなど)。
- ・季節をとらえ、詠よまれている情景をとらえる。↓俳句は季語に注意。
- ・感動の中心をとらえる。↓「かな」「や」「けり」などの感動を表す言葉に着目する。

★漢文の読み方

- ・返り点(レ点や一・二点)や送りがないにしたがって正しく訓読する。
- ・漢文独特の表現に注意して内容を理解する。

確認問題

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「水なしの池、あやしう、<sup>①</sup>などてつけけるならむ」と問ひしかば、五月など、すべて雨いたく降らむとする年は、この池に水といふ物なくなむある。また、日のいみじく照る年は、春のはじめに水なむおほく出づると言ひしなり。「<sup>\*</sup>げになべてかわきてあらばこそ<sup>\*</sup>さもつけめ、出づるをりもあるなるを、一すぢにつけけるかな」といらへまほしかりし。<sup>②</sup>

(清少納言「枕草子」より)

(注) などて…どうして。 げに…なるほど。 ほんとうに。

なべて…いつも。 さ…そのように。

いらへまほしかりし…言い返したかった。

□(1) この文章では何が話題となっていますか。最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 地名
- イ 池の名前
- ウ 池の深さ
- エ 池ができた理由

□(2) この文章には、会話文として「」をつけることのできる箇所が1か所あります。その部分の初めと終わりの五字を書き抜きなさい。

□(3) 線①「あやしう」について、次の(a)・(b)の問いに答えなさい。

(a) 「あやしう」を現代かなづかいに直して書きなさい。

□( )

(b) 「あやしう」のここでの意味として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 神秘的だ
- イ 不思議だ
- ウ 趣がある
- エ 気味が悪い

□(4) — 線②「いらへまほしかりし」とありますが、筆者はなぜ言い返した

かったのですか。最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 池などどこにも見当たらないのに「池」というのは、納得がいかなかったから。

イ 水が湧き出ているところは「泉」というべきなのに「池」というのは、大げさであると思ったから。

ウ 池に水があるときもあるのに「水なしの池」というのは、一面的なとらえ方ではないかと思ったから。

エ 常に水をたたえているにもかかわらず「水なしの池」というのは、実態に合っていないと思ったから。

## 2 次の和歌と俳句を読んで、あとの問いに答えなさい。

A いはばしる垂水たるみの上の早蕨さわらびの萌もえ出いづる春はるになりにけるかも

B 山里やまは冬ふゆざさびしさまさりける人目ひとめも草くさもかれぬと思おもへば

C 荒海あらいや佐渡さとに横よこたふ天あまの河が

D 釣鐘つりがねにとまりてねむる胡蝶こてつかな

(注) 胡蝶…蝶ちょうのこと。

志貫皇子しきのみこ

源宗于みなもとのおむねゆき

松尾芭蕉まつおのばしやう  
与謝蕪村よせふせん

□(1) Aの和歌から枕詞まくらごしを書き抜きなさい。

〔 〕

□(2) Bの和歌の——線部「かれぬ」は、人目ひとめ(人の往来)が「離かれる(絶える)」と草が「枯かれる」という二つの意味を持たせていますが、このよう

な表現技法を何といいますか。

〔 〕

□(3) A～Dの和歌と俳句の中から同じ季節を詠んでいるものを選び、記号で答えなさい。

〔 〕と〔 〕

□(4) 次の①・②にあてはまるものとして最も適切なものをA～Dからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- ① 大小の対比をとらえて詠んでいるもの。
- ② 壮大なスケールを感じさせるもの。

① 〔 〕 ② 〔 〕

## 3 次の漢文を読んで、あとの問いに答えなさい。

① なかしいフコト 無<sup>レ</sup>道<sup>二</sup>人<sup>一</sup>之<sup>の</sup>短<sup>ヲ</sup>、己<sup>の</sup>長を説くこと無かれ。人に施しては慎んで念ふこと勿かれ、施しを受けては慎んで忘ること勿かれ。

(崔瑗「座右銘」より)

□(1) — 線①「無<sup>レ</sup>道<sup>二</sup>人<sup>一</sup>之<sup>の</sup>短<sup>ヲ</sup>」を書き下し文に直して書きなさい。

〔 〕

□(2) — 線②「己の長を説くこと無かれ」の現代語訳として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 年長の人に逆らってはならない
- イ 自分の親に説教をしてはならない
- ウ 自分の長所を自慢してはならない
- エ 長い時間を叱ってはならない

〔 〕



と。殿これを聞こし召して、いみじくほめさせ給ひて、上に奉りたりける紅の御衣一つを取りて、うちかづけさせ給ひつれば、輔親賜りて、伏し拝みて、御格子を参り果てて、御衣を肩にかけて、侍に出でたりければ、侍どもこれを見て、「これはいかなることぞ」と問ひければ、輔親ありつるさまを語りけるに、侍ども皆聞きて、いみじくほめののしりけり。  
〔今昔物語集〕より

(注) 御堂：藤原道長。 参れ：下ろせ。 祭主：伊勢神宮の神職の長。

勘解由の判官：平安時代の役職の一つ。 奉りたりける：着ていらつしやつた。

□1 この文章には、会話文として「」をつけることのできる言葉が一つあります。その言葉を文章中から五字以内で書き抜きなさい。


□2 — 線①「入りて」の動作主として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 御堂 イ 輔親 ウ ほととぎす エ 侍ども

□3 — 線②「これ」は何を指していますか。十字以内で答えなさい。


□4 — 線③「さては遅き」とありますが、道長にこう言われた輔親はどのように対応しましたか。三十字以内で答えなさい。

漢字のトレーニング

□1 精緻な細工を施す。

□2 双方の折衷案を出す。

□3 和やかに談笑する。

□4 手綱を引いて馬を止める。

□5 現場から逐次報告する。

□6 申し出をカイダクする。

□7 祝いの品をタマワる。

□8 彼女はホンポウな人だ。

□9 お湯をワカす。

□10 絵にインエイをつける。

□11 通行をサマタげる。

□12 ドルを円にカンサンする。

□13 腰をスエて話す。

□14 試験のヒツス科目。

□15 身柄をコウソクする。

□5 「あしひきの山ほととぎす」の和歌から枕詞を書き抜きなさい。


□6 — 線④「名のりすらしも」、⑤「いみじくほめののしりけり」の現代語訳として最も適切なものを次からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

□4 ア 名のりをしていようです イ 名のりのでしようか

ウ 名のりのでしよう エ 何と名のりのでしよう

□5 ア ほめたりからかったりしたらしい

イ ほめずにねたんだそうだ

ウ たいそうほめたたえたそうだ

エ 珍しくほめたたえたそうだ

□7 この文章の内容と合っているものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 道長は、ほととぎすを題材に和歌を詠むことを命じた。

イ 道長は、輔親の歌がすばしかったので、ほうびに紅の衣を与えた。

ウ 輔親は、ほととぎすが鳴いていることを和歌で道長に知らせた。

エ 道長は、輔親の和歌の出来上がりが遅いことをとがめた。

□ 次の漢詩と文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

ここには桃は出てきませんが、李白には別に「山中問答」と題する文章があります。□ A

余に問う 何の意ぞ 碧山に棲むと  
 笑つて答えず 心 自から閑かなり  
 桃花流水 杳然として去り  
 別に天地の人間に非ざる有り

問余何意棲碧山  
 笑而不答心自閑  
 桃花流水杳然去  
 别有天地非人間

「杳然」は、はるかに遠く、いずことも知れず、といった意味、「人間」は、人の世という意味です。この「桃の花びらをうかべた谷川が流れる別天地」は、李白より三百年ほど前の詩人陶淵明が描いたユートピア、「桃源郷」の物語を思い出させます。

陶淵明の「桃源郷の記」に描かれた理想郷は、一見平凡きわまりないユートピアでした。そこに住んでいるのは戦乱をのがれてきたごくふつうの中国の農民で、山海の珍味も金殿玉楼もありません。しかしたった一つ、外の世界とは根本的にちがうところがありました。それは税金のないことです。いいかえれば、税金をとる者ととられる者、支配する者とされる者の区別がない社会です。そんな世界の入り口に、桃の花があふれんばかりに咲いていた、というこの話は、中国人と桃の花との関係を □ B に示しているのではないのでしょうか。

① 海知義「漢語の知識」より

□ (1) A にあてはまる漢詩の種類を次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 五言絶句 イ 七言絶句  
 ウ 五言律詩 エ 七言律詩

□ (2) 線「問余何意棲碧山」とありますが、書き下し文を参考にして、返り点をつけなさい。

問余何意棲碧山

□ (3) B にあてはまる言葉として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 象徴的 イ 暗喩的 ウ 例示的 エ 形式的

◎ (4) 線「桃の花が重要な役割を演じています」について説明した次の文の □ にあてはまる言葉を、五十文字以内で答えなさい。  
 ・桃の花には、□ という思いが込められている。


② 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

七条の南、室町の東一町は、祭主三位輔親が家なり。丹後の天の橋立をまねびて、池の中嶋をはるかにさし出して、小松をながく植ゑなどしたりけり。寢殿の南の廂をば、月の光入れむとて、ささざりけり。

春のはじめ、軒近き梅が枝に、鶯のさだまりて、巳の時ばかり来て鳴きけるを、<sup>②</sup> ありがたく思ひて、それを愛するほかのことなかりけり。時の歌よみどもに、「かかることこそ侍れ」と告げめぐらして、「明日の辰の時ばかりに渡りて、聞かせ給へ」と、ふれまはして、伊勢武者の宿直してありけるに、「かかるところのあるぞ。人々渡りて、聞かむずるに、あなかしこ、鶯うちなんどして、やるな」といひければ、この男、「なじかは遣はし候はむ」といふ。輔親、「とく夜の明けよかし」と待ち明かして、いつしか起きて、寢殿の南面をとりしつ

